

世界を作り変える男・イーロンマスク 竹内一正・ダイヤモンド社

グーグル創業者の一人ラリーページは「自分の財産を残すとしたら、未来を創れるイーロンマスクに贈る」と。2002年スペースXと云う宇宙ロケット開発の会社創業「人類を火星に移住」「ロケット開発コストも百分の一」と完全に素人でベンチャー企業が6年で宇宙ロケット打ち上げに成功NASAに比べコストは10分の一、2015年には一段ロケットの回収にNASAでもできなかった事に成功、コストは前代未聞の域へ。2004年本気でガソリン車を無くそうとテスラ創業、電気自動車の最重要特許さえ無償公開。

01～ビジョンに実行力を近づける 2013年ハイパーloop交通システム構想を発表（減圧されたチューブの中に浮かべたカプセルに20～30人乗り1200km時速で移動）

02～スケール感を2割段階上げて考える～人類と地球を救う為に「人類を火星に移住させよう」とAiに警鐘を鳴らし潜在的な危機は核兵器より大きいとニューラリンク社を2016年創業ローレンス国立研究所等有力な研究者が終結、27億円調達で本気度示した。

03～欲望をモチベーションに昇華～スペースXの今後の打ち上げ予定は50回毎月打ち上げても追いつかない程であり理由はコスト激安と確実に打ち上げる技術と高い評価。

04～「ワク」を取り払う図太さ～テスラ社が2013年に高速道路を自動運転走行中にトレーラーからの大きな金属落下物に巻き込まれ火災発生、但し運転者にはけがはなしいち早く車高を自動的に上昇させるモデルにチェンジした。

05～21世紀を切り開く思考法の正体～人間の知識レベルを飛躍させる太陽エネルギーの力で生態系全体が動いている！もし太陽がなければ地球は-270度の凍った世界だ。

06～やり抜く動機はリーダーが作る・最後はトップがリスクを取る～イーロンマスクの最大の苦境とは=かつてソニーの盛田昭夫も「発明と製品化の間には死の谷が待っている」と、2016年テスラの自動運転で死亡事故の時「テスラ車の自動走行距離は合計2億km以上で初めての死亡事故、統計では1、6億kmで1件の死亡事故」と、勇気を持って反論した。2ヶ月後にはテスラの自動運転車が車内で急病になった弁護士を救った。

07～既得権益の罪とワナ～常識を疑え・ルールを壊せ～自動車業界はディーラーが売り、テスラは直接売る、全米ディーラー協会はディーラーを通さないのは違法と激しい法廷闘争

08～頭脳とフットワークの両輪をハイスピードで回す～宇宙工学の専門家から全くの素人が質問攻めでノートも殆ど取らず9割の知識が身につくまで質問を止めない。

09～攻撃は合理的且つ客観的に～相手が強敵でもひるまず戦う

10～自ら矢面に立つ覚悟を持ち常にオープン～自分に都合の悪い事も隠そうとしない

11～日本企業にこそ必要な思考法～トヨタには本質に立ち戻って考える思考法がある

12～点が線に線から面に拡大せよ～中国は基礎研究に120兆円再生可能エネルギー他

13～勝敗を分けるタイミングの見分け方～時流に乗り大勝負に出る

14～ぶれない信念が壁を壊す・株主の云う事は聞くな～グーグルのラリーページとセルゲイブリン、アップルのジョブズ、アマゾンのゼーフベズスも株主の声を拒絶した。